あさぎり町

議会だより

～あなたの声を議会へ～

No.88
R8年11.5発行

あさぎり町議会 検索

あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。



通年議会　第３回～第５回会議

町民インタビュー ・・・・・ 2～3
令和７年度決算審査・・・・ 5～8
第３～５回内容 ・・・・・・・4・9
一般質問 ・・・・・・・・・ １０～１７
主権者教育 ・・・・・・・ ２０～２１
議員活動報告 ・・・・・ ２２～２３

あさぎり町

町民インタビュー 第2弾



土砂流入や溢水被害の軽減を図る 農業用施設の整備



鍋塚排水路拡幅工事について



百太郎溝土地改良区事務局長
市田（いちた）　秀樹（ひでき） さん

――令和８年度工事完了予定だが、感想は？

令和２年７月豪雨では、百太郎溝があふれ、周辺住民に被害が出ました。大雨のたびに溢水対策に不安はありましたが、今後は解消し、安心できます。

――町に対して期待することは？

関係団体と連携しながら、防災・減災を町と一体となってやっていきたいので、今後もよろしくお願いします。



鍋塚排水路工事（上流）



学童農園事業の委託先にもインタビューしてきました！



JA 青壮年部　免田班長
福永（ふくなが）　正志（まさし） さん

――田植えの時に、子どもたちに日本神話の事を話しておられましたね。

お米は日本神話の中で、天照大御神が天上の田んぼで育てた稲を地上に授けたというお話を、５年生の子どもたちに話しました。日本人の主食であるお米を育てる事が、子どもたちにとって貴重な体験になればと思っています。

――JA 青壮年部は今後どんな活動がありますか？

案山子コンクールの後、稲刈り、餅つき、その他、笑祭や駅前のイルミネーション等、仲間皆で楽しみながら活動しています。いつでも部員募集中です！





特集

「あの事業ってどうでした？」

令和７年度のあさぎり町の事業について、町民の方々に直接お伺いしました！

子育て環境の整備



――家族構成とご出身は？

本人、妻と子ども２人の４人家族。夫婦とも球磨郡外出身。



須恵（屯所）
上嶋（うえじま）　徹（とおる）さん

――令和７年度あさぎり町の主要事業で、関心がある項目や意見・感想などをお伺いさせてください。

・子育て支援事業（保育料無償化や副食費の無料化など）が、家計に助かります。
・生活応援給付金などの物価高騰対策が他の自治体より多く、日常生活に活かせました。

――その他町政全般に対してのご意見ご要望などは？

・ゴミ分別回収は有意義だが、廃プラ収集日が限られており少し余裕が欲しいです。分別後に自宅に保管するのが大変です。
・岡留公園など楽しいが、真夏に過ごせる屋内での遊び場などがあると有り難いです。

修学旅行補助金について

――感想は？

修学旅行は子どもにとって貴重な経験であり、大切な思い出になる行事です。広島・京都・大阪を訪れ、友達と過ごす中で、普段の学校生活ではできない経験をたくさんすることができました。助成していただいたことで、家庭の費用負担も軽くなり、子どもにその分の経験をさせてあげられたことを、とてもありがたく感じています。



免田（八幡町）
税木（さいき）　英子（ひでこ）さん

――今後、町に対して期待することは？

子どもたちが将来に向けて学ぶための学習面での支援や、さまざまな経験・体験ができる機会への支援、スポーツ活動への支援など、子どもたちの成長を幅広く応援していただけると嬉しいです。子育て世代として、これからも子どもたちがいろいろなことに挑戦できる環境を整えていただけることを期待しています。

令和７年度
一般会計歳入歳出決算の認定について

認定

歳入 145億1,155万円

歳出 134億3,382万3千円

■認定第１号「令和７年度あさぎり町一般会計歳入歳出決算の認定」に対する附帯決議

令和７年度の決算認定にあたり、認定第１号「令和７年度あさぎり町一般会計歳入歳出決算の認定」に対して、下記の課題を認識し、事業の適正な運用等に配慮して取り組まれるよう、附帯決議を行う。

1　救護施設しらがね寮の民間移譲に関して、行政が行うべき慎重かつ綿密な計画立案と、交渉の手法や透明性などに懸念が残されることとなった。
　また、令和８年度以降の職員の定員管理にも影響を与えており、これからの運営についても、予断を許さない状況にあることから、今後は、より適切で確実な事業の遂行を求める。

2　コンサルタント会社への業務委託に関して、費用対効果が見えにくいため、今後は、議会や町民が理解しやすい事業の実施と結果説明、費用対効果の数値化や見える化などを求める。

3　皆越地区農地等災害復旧工事に関して、当初対象者に説明した工事内容が実施設計に反映されておらず、適正な工事には至らなかった。
　また、一ノ木谷沈砂池設置工事に関して、事前に質疑書が提出されているが、落札日以降、双方のコミュニケーション不足が原因で工事の進捗に多大な影響が出た。今後は、相手方との協議等を十分に行い、公共工事に不信感を与えないように求める。

4　鳥インフルエンザ埋却用地に関して、町有地を埋却用地として売買契約したが、契約解除することとなった。その結果、新たな用地の選定にも町として放任できず、職員も多大な労力を費やし、議会もそれに関する審議時間が増加した。今後は、事業内容や金額の多少に関わらず、町民の安心安全を最優先とし、議会への説明はもとより慎重な手続きを求める。

5　認可地縁団体に対する補助金算出に関して、事業費総額を補助の対象としており、控除すべき財源が明確にされていない。
　また、団体が事業主体になることによって、経済性や効率性が高まる事業の実施となっているのか。今後は、事業費の精査と控除すべき財源を明文化することを求める。

　最後に、議会の監視機能を踏まえ、執行部のガバナンス強化と人材育成を図ることを強く求める。

〈一般会計〉

総務課

問　人口は減っているが職員定数は変らない。見直しは。

答　定員管理計画が令和８年度までとなっており、令和９年度からの計画は今年度見直す。

問　自主防災組織による防災訓練の実施率は。

答　避難訓練や情報伝達訓練、避難所開設運営訓練など、約33％程度。

問　今後の支所業務運営は。

答　支所業務については、コンビニ収納、郵便局委託など総合的に協議しているが、標準化システムの導入が遅れており、支所のあり方も今後、考えていく。

会計課

問　財産運用収入で、国債の運用があるが、売却するような国債はあるのか？

答　現在19本あるが、売却する予定はない。ただ、期間が短かいものには定期と同じ感覚で運用したい。

企画政策課

問　ｅスポーツの開催回数と成果は。

答　今年３月にポッポー館で実施。子ども含めて58名の参加。高齢者から子どもまで「ｅスポーツに楽しんだ」、「これからも開催してほしい」という声もあった。今後は、社協の方で機材を所有しており、機会のある時には出来ればと考えている。



ｅスポーツで楽しみながら脳を活性化

問　南稜高校魅力化推進事業の成果は。

答　令和７年度に南稜高校魅力化基本計画を策定。別に地域未来留学というものがあるが、町単独事業として、関東・関西圏に高校生らと出向いて説明会を行い、15～16名はこられた。

財政課

問　公共施設整備、学校施設整備基金の増減理由と目的、および産業活性化基金が３億円の積み増しとなっていることの目的は。

答　公共施設整備基金については、本年度に本庁舎駐車場整備事業を行い、臨時的な財政需要の財源として活用しつつ、今後の本庁舎整備事業の財源として。また、学校施設整備基金は、個別施設計画に基づく中学校長寿命化改修の財源として令和４～７年度に活用しており、今後も小学校統合等が検討されていることから、一定の水準を維持したい。産業活性化基金については、毎年度、定額を活用し、事業の継続が必要。今度も幅広く、産業の活性化のために活用していく。

問 **旧上庁舎の跡地活用は。**

答 宅地分譲の案も出ているので、課題の整理や分析に加えて、引き続きサウンディング調査を行っている。分析の成果をふまえて特別委員会へ報告したい。

※サウンディング調査とは　民間事業者との対話による事業可能性の調査

農林振興課

問 **木材価格は変わらず、手数料等は高騰しているが、伐採後の町有林の管理は。**

答 間伐後は、伐期が来るまでそのまま育林をしていく。主伐後は、再造林ということで植林を行い、森林の適正管理と、森林の世代交代・更新等、協議を関係者と進めたい。

農業委員会

問 **農地の売買・貸借等の直近３ヶ年の動向は。**

答 農地法第３条による売買は、若干増え、法４・５条による取扱いは横ばい。耕作放棄地は、再生困難な荒廃農地が若干増加。農地中間管理機構による賃借は、１９２・９２ｈａと伸びている。

商工観光課

問 **ウィンターフェスティバルの経費、運営、成果は。**

答 補助金として、１４５万円支出している。商工会青年部やＪＡ青壮年部、青年団によりいろいろアイデアを持ち寄って、イルミネーションの装飾を行っている。駅前に、家族連れやカップル、高校生など会場で町なかを賑わせている。



芝生広場イルミネーション

建設課

問 **岡留公園の倒竹、看板の対策は。**

答 看板の書換えは、商工観光課と協議を重ねて、今後発注したい。倒竹については、業者が決定したので、年内には出来る。



岡留公園倒竹

問 **道路維持費の考え方は。**

答 舗装工事等があるが、基本的に工事をした場合、町道に以前から区画線等があったら、引き直し等は行っている。また、新規に区画線等を引いてる場合も、状況によっては検討し実施している。

問 **通学路の安全確保は。**

答 来年度に向けて、グリーンベルト、歩行者専用、歩行者が通る緑で表す路面表示、あるいは自転車が通りますよという矢羽表示、反射鏡等、検討している。

町民課

問　不法投棄物処理委託料が倍ぐらい伸びているが、その内容は。不法投棄予防の周知徹底が必要ではないか。

答　件数はなかなか減少しない。大規模林道に廃材等の大量投棄があり処理費用を増加させた。広報紙等により啓発をすすめたい。



深田大規模林道



不法投棄物撤去内容

生活福祉課

問　救護施設しらがね寮について、民間移譲の手続きの取り下げと、今後の計画を指定管理に変更した経緯は。

答　令和7年度に民間移譲の公募を行い、1法人の申請があった。町は、手順通り進めたが、審査後の調整がつかなかったため取り下げとなった。今後は、再度検証をしながら指定管理での募集を行い、3年後をめどに民間移譲へと進めていきたい。

教育課

問　丸池の状況について、リュウキンカの復活の実績は。

答　見識者に現地調査や検討を頂いている。少なかった時期からは若干は増えてきている状況。



丸池公園

問　才園古墳は、維持管理だけでなく周辺整備まで出来ないか。

答　どれだけの拡幅が必要かにより買収等の課題も当然あるので、まず現地の確認をして検討していければ。



周辺整備も課題の才園古墳

問　子ども会や青年団などの社会教育団体について、今後どのような状況になるとお考えなのか。今後の在り方を考えていただきたい。

答　子ども会については、子どもの数が減ってきているので、諸行事の実施も困難になってきているが、何とか活動は存続して頂ければという思い。



あさぎり町子ども会育成連絡協議会活動（育成者講習会）

税務課

問　町民税の伸び率が117％と大きいが、どのような業態がよかったのか。

答　個人町民税は約7，700万円増えているが、令和6年度の定額減税分で5，150万円とそれ以外の主な理由は給与所得の増。

問　たばこ税の伸びについての内容は。加熱式たばこの扱いはどうなっているか。

答　本数が1，430万本から1，500万本と増えており、加熱式たばこについても課税はされている。

〈介護保険特別会計〉

高齢福祉課

問　在宅サービスで、待機者への介護給付はどのように賄っているのか。

答　入所系の施設を増やすのはかなり厳しく、サービスを組合せながら在宅介護を続けていただくしかない状況。介護従事者の確保が難しくなっており、介護人材確保が重要になってくる。

問　基金残高が増えており、基金を1号被保険者の保険料を下げるために取崩して、次の3年間の計画を立てるということがあってもいいのではないか。

答　取崩しをして保険料を下げることも第10期にはしたいと考えており、策定委員会等でも検討させていただきたい。

〈球磨郡障害認定審査事業特別会計〉

高齢福祉課

問　認定審査会に限らず介護保険を広域連合でやっているところもあるが、町長として考えがあれば。

答　球磨郡介護認定・障害認定審査会については、現在も人吉市との広域化に向けて協議を進めており、広域化の環境づくりというのは大体整ってきている。今後とも人吉市との広域化について進めていきたい。

〈水道事業会計〉

上下水道課

問　水道料金の見直しは。

答　経営戦略を本年度委託している。資本の整備や維持管理の費用を算出するため資料収集の段階。水道料金の見直しをしなければならない時期は来るので、本年度の経営戦略の完成をみて、公営企業審議会と協議し検討したい。

第３回会議（７月９日開催）

全会一致で可決

一般会計補正予算（第２号）

歳入歳出それぞれ 300 万３千円を追加し総額 120 億 3，061 万７千円とする。

・熊本県・消防ポンプ操法大会出場　300 万３千円

第４回会議（８月 10 日開催）

全会一致で可決

一般会計補正予算（第３号）

歳入歳出それぞれ 1，814 万８千円を追加し、120 億 4，876 万５千円とする。

主なもの

・IC 旅券用交付窓口端末機更新費用　22 万円

・町道立野線災害復旧工事の仮設道及び立木伐採の増額　1,500 万円

・小中学校６校図書購入費　112 万１千円



第５回会議（９月８日～ 18 日開催）

全議案全会一致で可決

９月定例会は、一般質問（P10 ～ P17 掲載）の後に、条例の一部改正４件と補正予算５件、工事請負契約２件、決算認定８件、報告３件、権利放棄２件、附帯決議１件などが提案された。

１．条例の一部改正

あさぎり町救護施設条例の一部を改正する条例 他３件

２．一般会計補正予算（４号）

歳入歳出それぞれ２億 7,004 万７千円を追加し、総額 123 億 1,881 万２千円とする。

主なもの

・高等学校等通学費補助金　468 万円

・地域介護・福祉空間整備事業補助金　830 万５千円

・清願寺ダム防災事業等負担金　564 万円

・上総合運動公園野球場改修工事等　376 万６千円



3.　伊賀川河川改修工事（右岸１工区・R8 緊自債）工事請負契約の締結について

契約の相手方　　株式会社　川辺

契 約 金 額　　8,638万3千円

4.　伊賀川河川改修工事（右岸２工区・R8 緊自債）工事請負契約の締結について

契約の相手方　　株式会社　恒松組

契 約 金 額　　7,700万円

住民協働事業の事業内容の確認と今後の事業推進は



2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

小松（こまつ）　英一（えいいち）　議員

問 事業内容ごとの実績と、事業効果はどうなっているか。

建設課長 ごみ集積場・リサイクル場の改修35件、里道整備12件、支障木伐採17件、公民館敷地整備9件が主な事業内容で、道路の通行の利便性や安全な通学環境、景観の向上などを図ることができた。



公民館敷地整備

問 私有地や私的財産が対象になっている事例があるが、このような案件は対象外ではなかったか。

建設課長 私有地の管理は個人で行うことが原則であるが、町道の交通の支障になる場合は、個人の状況を踏まえて検討し、許可を出していきたい。

問 私的財産は、所有者が管理をすることが最善だと思うが、地域住民の福祉と捉えれば、やむを得ないということも理解できるし、道路管理者としての町の責任もある。今後は公平性や公益性を担保した上で、事業に取り組んでもらいたい。

町長 申請者と綿密な打ち合わせをしながら、慎重に協議を進めた上で事業を実施していきたい。

町民の健康づくりの取り組みは



健幸教室の様子

問 町が取り組んでいる健康づくりは、どのような事業があるのか。

健康推進課長 健康推進課では、主に、健康なまちづくりを実現することを目的とした健幸運動教室と、獲得されたポイントを健幸応援券や、デジタルギフトと交換できる健幸プログラムデジタル健幸ポイントに取り組んでいる。

問 健幸運動教室の取り組みで、町の一般財源の額がどんどん膨らんでいることや、若い世代や女性の間では、健康づくりに対して自己投資をされているイメージがある。そこで、ヘルシーランドを活用した、温泉とスポーツジムをセットにした新たな官民連携の取り組みはできないか。

町長 ヘルシーランドの施設の老朽化、社協のデイサービス跡や上庁舎跡地の利用も含め、検討をさせていただきたい。

一般質問 8人が登壇



令和８年熊本地震及び異常気象における町の対応は

橋本（はしもと） 誠（まこと） 議員

２次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

問 令和８年熊本地震発災後の町の対応は。

総務課長 役場内において課長会議を開催後、避難所を開設し、住民へは、防災ラジオ、防災行政無線、エリアメール等を組合せて情報発信をおこなった。

問 被害状況の把握方法は。

総務課長 住民からの連絡と消防による巡回等による確認。



問 避難所開設にあたって、何を基準に重点的に開設したのか。

総務課長 今回は、さほど被害がなかったということで空調設備が整った避難場所に開設した。



支え合い防災マップづくりの様子

問 防災の日に町民に対し防災に関する啓発がなかったのは何故か。

町長 11月に防災フェスタを開催するということで少し気が緩んでたところはあるかと思うので、今後、防災の日にも啓発していく。

問 異常気象における町の現状と対応は。

高齢福祉課長 高齢者対応として包括支援センターの職員等が訪問した際に周知は行っている。

生活福祉課長 町内のこども園、保育園に対しては熱中症事故防止の周知、依頼を行っている。

問 地震・異常気象への対応は、町だけではなく地域行政として対応を考えていく必要があるのではないか。

町長 近隣自治体・企業との連携をもう一度見直す必要があると感じているので、検討させていただきたい。

町長・議員選挙に電子投票の導入を



2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

溝口（みぞぐち）　峰男（みねお）　議員

問 電子投票導入のメリットは、開票事務に従事する職員の数や作業を大幅に減らすことができる。疑問票や無効票がなくなる。自書が困難な有権者も容易に投票ができる。若い人の関心が高まる事が考えられる。あさぎり町はデジタル化推進計画まで作成している。こういった事にも目を向けて町民の負担軽減を図る環境を作るべきではないか。

総務課長（選管書記） 導入費用の半分が特別交付税措置されるが、現在の町の選挙費を比較したときに直ちに有利であるとは言えないので、慎重に検討する必要がある。

問 宮崎県新富町が今年の3月、福岡県粕屋町が8月に電子投票を実施した。両町には来年の統一選挙に向けて全国の自治体からの視察団で予約が一杯との事。町民目線で検討すべきではないか。

総務課長（選管書記） 導入するには、条例の制定が必要であり一年以上の期間を要する事から、あさぎり町の来年の選挙には難しい。



“開票作業が約30分で終了”
福岡県粕屋町が「電子投票」導入へ

問 本町には、熊本クラウンゴルフ場があり、ゴルフ場利用税交付金が令和7年度は560万円あった。今後さらに利用者等を増やす工夫は。

町長 人吉の旅館とのタイアップでインバウンドの方が利用され話題になった。今後も町の資源としてPRに活用したい。

問 町民の利用者は健康づくりの観点からデジタルポイントの対象にならないか。

健康推進課長 健幸デジタルポイントに加入すると距離・歩数によってポイントが付与され健幸応援券もしくはデジタル健幸ポイントに交換できる。

問 ふるさと納税をもっと増やすために返礼品にゴルフ場利用券を加えることはできないか。

商工観光課長 ポータルサイトへゴルフ場利用券を登録することは可能。



熊本クラウンゴルフ場

その他の質問

- 清願寺ダムの総貯水量330万㎥の確保について



安心して産み育て、命を守る町へ

加賀山（かがやま）　瑞津子（みつこ）　議員

2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

問　産後ケア事業の実施・利用状況や課題、利用しやすい環境づくりについて、併せて産前から産後まで切れ目なく支援するための保健師による訪問・相談や、他自治体の「産後ドゥーラ」などの取り組みを参考にする考えは。

健康推進課長　産後ケアについては、今後も充実に努める。10月からは、妊産婦検診や産後ケア利用時の交通費、宿泊費への助成も拡充する。利用料や家庭の状況など、利用の壁となる部分もあるため、福祉部門とも連携し、一人ひとりに寄り添った体制づくりに取り組む。

町長　母子保健推進委員の活動も産後ケアには重要である。利用する方にとって何が壁になっているのかを、訪問を通して把握し利用しやすい体制づくりにつなげていきたい。



「産む前」から「産んだ後」まで継続した支援を

問　突然の災害は子ども達の「登下校中」に起こる可能性もある。令和8年熊本地震は7月28日午後4時27分ごろに発生。通常の登校日であれば子ども達の下校時間と重なる可能性もあった。6月議会に続き「登下校時の子ども達の安全確保について」再度問う。

教育長　「言われたことを行う力ではなく、自分で考えて行動する力をつけていく」子ども110番の家について具体的な対応マニュアルは今後検討していく。学校では、地域を歩いて危険個所や110番の家を確認する学習を行い、子ども自身が考えて、助けを求める力を育てている。防災についても、避難訓練等を通じて自助・共助の意識を高めていく。

自分で考え行動する力を



問　安心して子どもを産み育てることと、子ども達が安心して暮らせることは、行政だけでなく、地域全体で支えて命を守る事が大切。今後どのように考えていくのか。

町長　安全で安心に暮らし続けられる町づくりのために、防災に関する知識・意識の向上を町民と一緒になって進めていく。

住宅の耐震化について



2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

とよなが　きいち
豊永　喜一　議員

問　日本国内いつどこでも起こってもおかしくない大地震が、令和8年7月28日に熊本で再び発生した。住家にも、大きな被害がでている。この様な大地震から自らの生命・財産等を守るためには、住宅や建築物の耐震化を図ることが必要であり、所有者一人一人が自らの問題として意識して取り組むことが重要と国交省も示している。現状では、国の2023年の耐震化率は約90％まで上昇しており、2003年の約75％から20年間で15％上昇している。国は、2035年度までに耐震性が不十分な住宅を概ね解消することを目標にしている。住宅の耐震化について現況と課題、対策を問う。

町長　住宅の耐震化が進まないのは、高額な工事費用、必要性の実感不足、そして高齢化と業者不足といったものがある。

問　国・県・町の耐震化率は。

建設課長　国90％、県89・5％、町65・7％となっている。

問　旧耐震、新耐震基準の町の住宅件数は。

建設課長　旧耐震基準住宅は、昭和56年5月31日以前に着工したもので、空き家、店舗、町外も含めて2，801件、町内居住1，117件となっている。

問　耐震化支援事業の直近3ヶ年の実績は。

建設課長　令和5年度で耐震診断2件、耐震改修・建替え1件、令和6年度耐震診断1件、耐震改修・建替え5件、令和7年度は旧耐震診断で旧耐震4件、新耐震13件、耐震改修建替えが4件となっている。



問　耐震改修の費用負担は高額だと思われるが。

町長　現段階ではまだ補助金の話は言えないが、耐震に備えて出来ることというものをしっかり伝えていきたい。

その他の質問

- 農地の大区画化について



公約の履行および進捗状況は

加藤（かとう）　弘（ひろし）　議員

2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

問　北口町長におかれては、「人が輝き心かよう町づくり」を掲げて、この3年半、町政運営に邁進してこられた。公約の履行及び進捗状況は。

町長及び関係課長　公約の履行及び進捗状況は以下のとおりである。

〈1　子育て世代の経済的負担の軽減〉

(1)　小・中学校給食の無償化。

(2)　奨学金返還若者就労支援事業補助金制度の創設。

(3)　小・中学校入学準備支援金の給付。

(4)　子ども医療の窓口負担の解消。

(5)　保育料、副食費の無償化・おたふく風邪の予防接種・産後ケア事業・妊産婦交通費助成事業他



〈2　高齢者が元気な町づくり〉

(1)　地域サロン活動開催助成金の増額、サロン参加の全てにポイントの付与、いきいき百歳体操の新規開催地区への助成と新規立ち上げ費用の支給開始。

(2)　シニア世代の活動として、介護予防サポーターや脳いきいきサポーターの養成、かちゃあボランティアのお出かけパック開始。他に友愛訪問活動、傾聴ボランティア、運転免許自主返納事業、ケアマネジャーに係る費用助成。

〈3　安心・安全に暮らすことができる町づくり〉

(1)　岡原地区では吉井配水区に統合し、上地区については、本年度、水源調査の実施の予定。

(2)　公立多良木病院までは、上、免田、深田地区の方も町の社会福祉協議会による移動支援サービスを利用して行けるようになった。

(3)　人間ドック型検診に係る補助の実施。

(4)　消防組合の統合は、令和10年4月1日を目指す。

〈4　地域の産業が元気になる町づくり〉

(1)　担い手支援として、農業機械施設の導入支援、収入保険の掛け金の支援、堆肥購入支援、種子等に対する支援、肥料や燃油資材に対する支援、新規就農者への給付金支援。商工業振興については、新規創業に係る補助金による支援。

(2)　物価高騰対策の事業費として、交付金ベースで8億858万8千円で実施。

(3)　インターネット環境は現時点で41・6％の普及率である。

(4)　ワーキングホリデーの都市部との交流が出来る体験民泊の整備。



秋の収穫作業

その他の質問

・これまであさぎり町に根付いていただいている事業所や主幹産業である農業について、もう一段階踏み込んだ支援について。

来春の町長選挙への認識は



2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

小谷（こたに）　節雄（せつお）　議員

問　町長就任以来の3年半の全体的な感想は。

町長　地方自治体の一番の存在意義は、そこに住む人々の生活を支えることだとして取り組んできた。物価高騰対策の生活支援事業や、合併特例債の活用期限に合わせた第二庁舎建設事業等も集中し、各年度とも過去上位の予算規模で推移したが、5つの重点項目を中心に主要事業を着実に進めてきた。



生活応援券

問　合併特例なき財政運営を強いられている現状であっても、今後も住民からのいろんな期待感が縮小することはないわけで、それらに応えるための財政運営の課題は。

町長　様々な助成や支援事業が経常化してしまうと、財政的には硬直化したのではないかという反省点はある。

財政課長　今後も避けては通れない大規模な財政需要を控えており、将来負担の平準化と、住民サービスの安定維持が重要な課題であると認識している。



副食費も無償化に

問　人の話を聞いて取ってこられたこの3年半。そういった面から、そこに町政の大きな変化を感じておられる町民の皆さんも多数おられると思う。慎重さ堅実さあるいは調整能力に加えて、より積極的な姿を示していただくことへの期待を含め、次のステップへの新たな決意を是非示して頂きたい。

町長　人が減り続けるこれからの社会にどう対応していくのかを最重要課題として、引き続き全力で取り組んでいかなければならない。町としても多くの課題を抱えており、公約の中にも積み残した部分がまだ沢山ある。これらの課題解決に向け、これまでやってきたことの土台の上に更に新しい価値を積み上げていければと思い、次期も挑戦したいと思っている。





米価とWCS用稲作付面積の関係性は

永井（ながい）　英治（えいじ）　議員

2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

問　令和6年、米の品薄感による米価の高騰いわゆる「令和の米騒動」をきっかけにして、本町でも令和7年産、令和8年産の主食用米の作付面積が増加している一方でWCS用稲の作付面積が減少をしている。そこで今後の米価とWCS用稲の作付面積の関係性についての見解は。

町長　今年度の米価については、令和7年度の大量の民間在庫や豊作の見込みを背景に下落傾向が想定されている。今は、米価とWCS用稲の作付面積の関係について、農業経営に直結する問題であるので慎重に注視している。

問　現在のWCS用稲の作付面積は、家畜の頭数に対して、妥当な面積なのか。



WCS用稲の刈り取り作業

農林振興課長　令和7年度のあさぎり町の肉用牛と乳用牛の飼養頭数は、7，567頭で、WCS用稲の生産面積は889・35haとなっている。WCS用稲以外の粗飼料のイタリアンライグラス・青刈りトウモロコシ等の生産面積は787・9haとなっており、それぞれの基準収量を計算すると、今後の飼養頭数は減少傾向にあると思われるものの、WCS用稲やその他の粗飼料の需要は今後も見込める状況にあると考えている。

問　今後、米価や畜産農家数の動向によっては、WCS用稲の作付面積が過剰になることも予想されると思う。その場合、町内や郡内を越えて、県内を耕畜連携の範囲として広域的にカバーしていくことが必要になってくるのではないかと考えるが。

農林振興課長　将来、町内のWCS用稲が過剰となった場合に、粗飼料が不足している地域とマッチングさせる広域的な耕畜連携の仕組みについては現実的と考えている。その時には、県の関係団体等に粗飼料の不足する地域の確認を行いながらの事業の実施は可能であると考える。



実りの秋を迎えた水稲

その他の質問
- 農家の熱中症予防啓発について
- 学校のプールの授業について

上球磨消防組合議会

令和8年第2回・第3回の臨時議会が開催された。

人吉球磨地域消防広域化に関する運営計画にて、上球磨消防組合に西分署（あさぎり町免田）を設置するための予算を可決した。

当面は、西分署開所まであさぎり町第二庁舎に小隊を派遣し、仮分署を置き活動する。

消防組合の広域化の発足は、令和10年4月1日としている。





令和8年10月1日からあさぎり町第二庁舎で仮分署稼働

議員との意見交換会を開催します

日頃より、町の発展と住みよい地域づくりにご協力いただき、誠にありがとうございます。この度、議員との意見交換会を希望する方々の募集を行います。皆様のご意見やご要望を直接議員にお伝えいただける貴重な機会ですので是非、ご利用ください。

日時：希望日を調整し、決定します。
場所：あさぎり町役場　第二庁舎　2階　議員控室
※その他、ご希望の場所があればご相談ください。
参加人数：3人～10人程度（1回あたり）
意見交換会は、ディスカッション形式で行う予定です。



◁民生委員会との意見交換会



△南稜高校との意見交換会

注意事項

1. 具体的な内容や数字等が必要な質問については　事前にお知らせください。
2. 個人的な内容や誹謗中傷は、受け付けません。
3. 対応する議員は、2人～4人。対応する議員の指名は出来ません。
4. 申込みが多い場合は、受付順で対応します。

お申込みはこちらまで

氏名、連絡先、内容等の必要事項を下記のいずれかの方法で連絡をお願いします。

■電　話
議会事務局　47−0312（直通）

■お問い合わせフォーム
地方自治の未来を創る調査特別委員会



▶議会だよりについてアンケートをお願いします。

総務建設経済常任員会

7月6日
委員会付託案件
【農林振興課】
・皆越地区災害復旧事業用水施設負担金減免措置の要望書について

問　米1俵あたりの生産にかかる電気料が、他の地域に比べて高額になっている理由は。

答　高低差が約90Mあり高圧電気の契約となっていることと大型ポンプや水圧に耐える強固な設備のため。

所管事務調査
・令和8年度の主要事業11ケ所及び要望の現地調査

7月22日
所管事務調査
【農林振興課】
・鳥インフルエンザ埋却予定地の検討結果について
【建設課】
・石田橋について

問　シンボルロードの交通量調査の結果を受け、他の町道と比較しての必要性は、どう感じているか。

答　調査は、石田橋周辺であり、ふれあいロードの利用が1日5～6人であるため石田橋の利用者が増えるかどうかはわからない。
【商工観光課・企画政策課】
・地域おこし協力隊について

8月10日
所管事務調査
【商工観光課・企画政策課】
・地域おこし協力隊について

9月4日
委員会付託案件
【農林振興課】
・皆越地区災害復旧事業用水施設負担金減免措置の要望書について

所管事務調査
【農林振興課】
・鳥インフルエンザ埋却地の検討状況について
【商工観光課・企画政策課】
・地域おこし協力隊について
【財政課】
・旧免田給食センター貸付備品の無償譲渡について



生徒のみなさんに聞きました。



中学生議会について、どんなことを考えていますか？

中学生議会ってどんなイメージ？

中学生議会では、中学生の考えや意見が町の取組などに反映されるよい機会だというイメージがありますが、発言するときは少し緊張しそうです。



（尾方（おがた）　乃彩（のあ）さん）

自分たちの町について、最近気づいたことは？

僕は、あさぎり町で外国の方が多くなっているように感じます。最近は登下校中によく見かけます。外国の方が来たことで相手の文化を知ることができるよいきっかけにもなると思いました。



（中西（なかにし）　佑真（ゆうま）さん）

中学生議会で伝えたいことは？

政治や町の未来を考えることは、私たちにとってとても大切なことです。中学生議会では、そのことを同世代のみんなに伝えるきっかけにしたいです。中学生のリアルな声を議会にしっかり届け、みんなが自分事として社会に興味をもつ一歩にします。



（山田（やまだ）　乃愛（のあ）さん）

中学生議会までの学びの流れ

1. 地域を知る
2. 課題を見つける
3. 自分で考える
4. 意見を表明する
5. 議会を身近に感じる

～ 議会を体験するだけではなく、未来の主権者を育てる学びの場 ～

地域とつながり、未来をつくる



中学生議会は、単に議会を体験するだけではなく、地域を知り、考え、意見を伝えることで、未来の主権者を育てる学びの場です。

子どもたちの真剣なまなざしと、前向きな意見は、これからのあさぎり町にとって大きな力になります。

12月18日 中学生議会へ

これまでの学びをもとに、中学生が町の課題や未来を考え、質問や提案を行います。

どうぞ、当日の様子にもご注目ください。

中学生議会へ向けた学び、進行中！

～未来の主権者を育てる「学びの場」～

12月に開催される中学生議会に向け、学校では地域の課題について考え、自分の意見を伝えるための学びが進められています。

今回は、学校での取り組みと、生徒たちの思いを聞きました。



12月に開催

中学生議会とは…？

町内の中学校から選ばれた生徒が、町の課題や自分たちの思いを、議場で質問・提案する「子どもたちの議会」です。

中学生の視点からの意見が
町の未来をつくる大切な力になります！



担当の先生方に聞きました。



中学生議会に向け、どのような取り組みをしていますか？

町長講話を聴き、あさぎり町についての理解を深めたうえで、学級で話し合いながら、質問を練り上げています。

地域や町の課題について、どのように学んでいますか？

あさぎり町の現状や課題についてタブレットなどを活用して調べ、仲間と共有しています。町の施策や行政についての理解を深めながら、地域のこれからについて考えています。

生徒たちに身につけてほしい力は？

町の施策や議会の役割を知り、地域のこれからについて考える中で、自分の意見をもつ力を身につけてほしいです。様々な人との対話をとおして視野を広げ、地域に関わる一歩につなげてほしいです。

Pick Up!
議員活動

町村議会全国広報研修会

令和８年８月28日　東京 LINE CUBE SHIBUYA（旧渋谷公会堂）

２８日の研修では、議会広報紙は住民に読まれなければ意味がないという基本理念のもとに、見出し・デザイン・記事ともに端的に分かりやすく書く事が重要と言う事を改めて理解する事ができ、今後の議会広報紙作成に少しでも反映できればと思った研修でした。

翌２９日は、東京臨海広域防災公園 「そなエリア東京」にて地震発生後 72 時間の生存力をつける無料の体験学習ツアーに参加し、地震発生後の対処方法を学習することができ、防災について考察する貴重な体験となりました。　（永井　英治）



広報研修


そなエリア東京

■ 研修内容 ■
- 住民と議会をつなぐ広報デザイン術
  －王寺町議会広報紙のリニューアル その狙いと効果－
- 議会広報紙のビフォーアフター
  紙面を見直す、効果的なテクニック
- 山形県川西町議会における議会広報の取り組み　～「読まれる」議会だよりを目指して～

球磨郡町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会

令和８年 10 月６日　あさぎり町免田総合体育センターグラウンド

秋晴れの空のもと、球磨郡９町村の議会議員と町村長、教育長等と和やかにプレーをし、その後、意見交換会も行いました。



おめでとうございます

難波文美議員



球磨郡町村議会議長会 10 年表彰

第９回あさぎり町ふるさと会

令和８年８月28日　東京都 ホテル ルポール麹町

第９回あさぎり町ふるさと会（関東）総会に議長ほか３名で参加してきました。懇親会では、多くの参加者とともに、これからも毎年集まり、親睦を交わすよう和やかな会となりました。



8月～10月活動内容一覧

月	日	行事名	参加者
8月	3日	全員協議会・議員懇談会	議員
	10日	第4回会議、総務建設経済常任委員会	議員
	12日	厚生文教常任委員会	議員
	17日	郡定例議長会（人吉市）	議長
	21日	厚生文教常任委員会、議会運営委員会、全員協議会	議員
	28日	令和8年度全国町村議会広報委員研修会（東京都）	議員
	30日	くま川鉄道沿線除草作業	議員
9月	1日	全員協議会・議員懇談会	議員
	2日	議会運営委員会	議員
	8日～18日	第5回会議（議運、全協、地方自治特別委員会を含む）	議員
	15日	第75回球磨畜産共進会（錦町）	議員
	19日	田頭川河川整備工事完成式（せきれい館）	議員
	20日	くま川鉄道全線運行再開記念式典（人吉市） くま川鉄道全線運行再開記念イベント（おかどめ幸福駅）	議長
	24日	郡定例議長会（人吉市）	副議長
	25日	第68回熊本日日新聞社金婚夫婦表彰並びにあさぎり町金婚夫婦表彰式（ポッポー館） 高橋政重翁祭典（多良木町）	副議長、各常任委員長
10月	1日	全員協議会・議員懇談会、総務建設経済常任委員会	議員
	3日	関東ふるさと会、歌舞伎座物産フェア（東京都） 笑祭	議長、議員3名 副議長
	5日	広報調査特別委員会	議員
	6日	球磨郡町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会（あさぎり町）	議員
	8日	第1回熊本県町村議会議員研修会（益城町）	議員
	9日	上球磨正副議長会と椎葉村・西米良村との交流会（宮崎県椎葉村）	正副議長
	15日	郡定例議長会（人吉市） 広報調査特別委員会	議長 議員
	16日	上球磨正副議長会議員研修会（あさぎり町）	議員
	17日～18日	第54回熊本県人権教育研究大会 人吉球磨大会（人吉市、あさぎり町） 歌舞伎座物産フェア（東京都）	議員
	19日	総務大臣感謝状贈呈式（東京都）	議員
	24日	第74回球磨一周駅伝大会結団式（生涯学習センター）	副議長
	25日	相良村制施行70周年記念式典（相良村）	議長
	26日	広報調査特別委員会	議員
	28日	百太郎溝水戸神社秋季感謝祭（多良木町）	議長
	29日	県町村議長会第2回監事会（熊本市）	議長
	30日	岡原霧島神社秋季例大祭	議長

聞かせて

町民の声

このコーナーは町民の皆さまの日頃の活動状況や議会・町に関する要望等を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願いします。



上北（柳別府） 上野（うえの） 洋子（ようこ）さん

この度、初めて民生委員、児童委員になりました。

前任の方から、地域との絆を引き継ぐこととなり、右も左もわからない状態からのスタートで不安でいっぱいでした。

「民生委員」と聞くと少し硬いイメージですが、私としては、皆さんの「一番身近なご近所さん」として肩のちからを抜いて始めたいなと思っています。

現在、お子様を育てるご家族から長年この地域を支えてくださっている高齢者の方が日々の生活の中で抱えるお困り事や不安に寄り添い、行政につなぐお手伝いをし、子供たちが元気で安全に学校へ通えているか見守っています。

近年は、「お隣りさん」との関わりが少なくなり「ちょっと誰かに話を聞いてほしい。どこに相談したらいいのか？」と思う方もいらっしゃると思います。まずは、地域の方に顔と名前を覚えてもらい、散歩や買い物の際に、気軽に声をかけていただき、世間話をしながら、ちょっとした気になる事、気づいた事を聞くことが出来たら嬉しいです。

経験が浅く至らない点もあるかと思いますがどうぞよろしくお願いします。

表紙写真





編集後記

朝晩の心地よい冷涼感に確かな秋の訪れを感じる季節となりました。先日の熊本方面を震源とする地震により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。不安な日々を過ごされている方も多いかと存じますが、1日も早く平穏な日々が戻りますよう祈っております。

11月発行の編集作業は、限られた紙面の中で、複雑な議案や議員の質問をどのようにすれば、皆様に正しく分かりやすくお伝えできるか、毎日頭を悩ませる日々です。

読んでいただけるような内容にするため、前回からインタビュー方式も取り入れています。

家庭の食卓やリビングで「今、議会ではこんな事が話し合われているんだね。」と、会話のきっかけにしていただけることを願っております。

（加藤 弘）

編集発行者
議長 小見田 和行
広報調査特別委員会
委員長 加賀山瑞津子
副委員長 加藤 弘
委員 小谷 節雄
橋本 誠
豊永 喜一
永井 英治

※本紙内容の無断複写およびSNS等への投稿、掲載は一切禁止します。
★お願い★ 「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。

発行／あさぎり町議会 編集／議会広報調査特別委員会
〒868-0408 熊本県球磨郡あさぎり町免田東1199番地
TEL（0966）47-0312
E-mail syoki-gikai@asagiri.kumamoto.jp 印刷：㈲町田印刷